

第 28 期登山学校【雪山入門実技講座】 レポート

1、都内も雪が降るのではと言われていて荒天を覚悟していましたが、現地は風のない穏やかな気候で、土合駅につく前からワクワクしました。

ラッセルして雪の階段を登りきった先に広がった、谷川岳、一ノ倉岳の景色は、言葉を失うほど雄大で、達成感や喜びで、胸が一杯になりました。連れて行って下さり、ありがとうございました。

頑張って登った後の、下りのシリセードがあっという間で、それもまた楽しかったです。

2日目のスノートレッキングでは、初日に教わったことを全部凝縮して実践したように思います。初日に習ったことを実践してみようと、考えながら歩きました。雪山講習にあたり、12本爪アイゼン、ストックを新調し、ミトンを準備しました。自宅でアイゼンの装着を練習し、サイズを設定してきたつもりでしたが、実際に歩いてみると、アイゼンが脱げることがありました。着けて歩いてみるのは大事だと思いました。

またミトンはとてもあたたかく、冷えることはありませんでしたが、想定していた以上にストックの操作性が落ちると感じました。

これからまた雪山に行く機会があれば、道具の工夫も重ねていきたいです。

1年間内容の濃いカリキュラムで、参加できて感謝でいっぱいです。

繰り返し講習を受けてもいいなと思うような内容でした。

ありがとうございました。

4月からどんな風に活動していこうか、とても楽しみです。A. N記

2、これまでも数回参加しているが、この雪の多さは始めてで、今回はスノーシューやワカンの価値がよくわかった。

借りたスノーシューが壊れたが、用具は使用中にも劣化が進むということを改めて実感した。

今期最後の講座が無事終わりホッすると同時に、次の閉校式が登山学校の最後かと思うと寂しい。今期もいろいろ学ばせていただき、いい出会いと経験の機会もいただきました。登山学校と運営委員の方々には感謝しかありません。本当にありがとうございました。H. T記

3、(雪山入門講座の感想)

雪山入門ではワカン装備の体験、ラッセル歩き、テーブル作成、いざという時の雪洞作りなど初めての体験だらけでした。

始めは戸惑いましたが、少しコツをつかむとだんだんと楽しくなっていました。

最後の鉄塔までの坂は大変でしたが、交代でラッセルをすると結構行けるものだと感じました。2日間でこんなにも多くのことを体験できるとは思っていませんでした。雪山が好きになりそうです。本当にありがとうございました。

S. A記